



定価（本体 2,800 円＋税）

B 6 変型判 160 ページ  
2015 年 12 月 25 日 刊行  
ISBN978-4-7583-0392-7  
メジカルビュー社

## CADD-Legacy<sup>®</sup> PCA ポンプ使用マニュアル(抜粋)

目的：以下の2点において、患者のQOL向上に繋がられる

1. CADD<sup>®</sup>ポンプを携帯することで、オピオイド注射薬使用中でも外出泊や在宅移行が可能になる
2. PCA を自己管理することで、患者の望むタイミングでレスキュードーズが使用できる

CADD-Legacy <sup>®</sup> PCA ポンプ	持続注入量 (mL/hr)	最大 充填量(mL)	※ ロックアウトタイム	PCA 量 (mL)	カセット定価 (円)
	10.0 ~ 50.0mL/hr	100	(5分~ 24時間 で設定 可能)	0~9.9mL (設定 可能) (増分 0.05mL)	3,500
		250			4,000

(エクステンションチューブセットフィルタ付き 1300 円)

※ロックアウトタイム：PCA ドーズボタンを押し薬液注入後、次に PCA ドーズボタンを押し薬液注入が可能となる時間

### 必要物品

CADD-Legacy<sup>®</sup> PCA ポンプ式 (CADD<sup>®</sup>本体、PCA 専用キー、操作マニュアル、機械ケース、携帯用ポシェット) 100mL 又は 250mL メディケーションカセット 単三アルカリ乾電池 2本  
エクステンションチューブセットフィルタ付き (メディケーションカセット用)

### 方法

#### 【病棟側準備】

1. 緩和ケアチーム介入中の患者で適応と思われる場合、医療チーム内で検討を行い導入する。
2. 機械操作や手順の確認と統一を病棟スタッフ間で施行する。

#### 【緩和ケア室】

1. CADD-Legacy<sup>®</sup> PCA ポンプ式とメディケーションカセット・エクステンションセットフィルタ付き各3セット、操作マニュアル一式を貸し出す。
2. CADD<sup>®</sup>開始決定の際に緩和ケアチームから薬剤部製剤担当へ連絡。

#### 【薬剤準備】

1. 基本的に日勤帯での薬液交換とするため、入院中は 5~7 日で CADD<sup>®</sup>カセット交換となるように薬液量を計算する。医師はオーダリング備考欄に『CADD』と記載する。
2. 薬剤の充填は無菌操作が望ましい。病棟看護師は、平日の日勤帯に麻薬とカセットを薬剤部へ持って行き充填を依頼する。

※病棟で充填を行う場合は、薬剤を CADD<sup>®</sup>カセットに充填し、エア抜きをする。(CADD-Legacy<sup>®</sup> ポンプ セッティング資料参照)

---

#### 【機械のセッティング】

1. CADD®本体に単三電池を入れ、医師の指示を確認し投与量の初期設定を行う。(CADD-Legacy®プログラミングガイド参照)

※以下の手順は、CADD-Legacy®ポンプ セッティング資料を参照

2. CADD®本体にカセットを固定し、エクステンションチューブセットフィルタ付きを接続する。
3. エクステンションチューブセットフィルタ付きにプライミングを行う。
4. リモートドーズコードを接続し、携帯用ポシェットに表示画面が見えるように入れる。
5. 患者側ルート又は穿刺針へ接続し、投与開始する。

※持続皮下投与の場合は、看護手順・基準（診療への介助編）IV持続皮下輸液に準じて穿刺

#### 【機械作動中の確認事項】

1. 各勤務時に設定を確認する。(CADD-Legacy®プログラミングガイド参照)
2. 残量を確認し交換時期の目安を把握する。
3. 夜勤者は朝6時にドーズ回数と有効回数をリセットする。
4. アラーム対応については、CADD-Legacy®ポンプ セッティング資料を参照

#### 【投与後薬液の取り扱い】

1. 空のCADD®カセットは破棄する。麻薬残液が出た場合は、CADD®カセットごと患者氏名がわかるようにして麻薬金庫保管後、薬剤部に返却する。

#### PCA の自己管理指導

1. 患者・家族へパンフレット（PCA ポンプを使用される方へ）を用い、PCA の使用方法を説明する。
2. 痛み日記などにポース時間を記入するように指導し、回数やタイミングの確認や医療者とのアセスメントで共有することを説明する。
3. アラームが鳴った際に、ルートの屈曲がないか、穿刺部位に問題が無いかの観察が患者・家族が確認できるように説明する。（ルート屈曲を直してもアラームが鳴り止まない際：外出中は病院看護師、退院後は訪問看護が対応）

#### 在宅移行時

1. CADD®薬液容量は訪問医の初回処方日まで無くならないように計算し、退院前に交換する。
2. PCA 専用キー・機械ケース・パンフレット一式を一緒に貸し出し、在宅医の所持機械と交換した後、訪問医又は訪問看護師から緩和ケア室へ返却してもらうよう連携する。

#### 注意事項

1. PCA 管理は看護必要度で評価する。
2. CADD®カセットとエクステンションチューブセットフィルタ付きは、各2セット病棟保管し、不足分は平日に緩和ケア室へ問い合わせる。
3. 貸し出し物品は紛失しないよう保管する。使用終了した時点で電池を機械から取り出し、本体・リモートドーズコードを清掃する。不足品がないか確認して速やかに緩和ケア室へ返却する。

---

・詳細は必ず製造販売業者の添付文書および取扱説明書をお読みください。

・定価は 2016 年 1 月現在のものです。